



203 2025年 11月

CAGLIERO 11

サレジオ会宣教ニュース

サレジオ会宣教部門による
サレジオ会共同体・サレジオ・ミッションの友人のための通信



再考



友人の皆さん、

150年前、福音の火と若者の叫びに衝き動かされ、ドン・ボスコは、財宝ではなく燃える心をたずさえた最初の宣教団をアルゼンチンへ送り出しました。ヴァルドッコからのその一団の貧しい旅立ちは、世界的な夢の始まりを刻みました：遙か前線の地にサレジオ会が根づき、希望をもたらす存在になるという夢の始まりを。

今日、私たちはその預言的な勇気の後継者です。息子たちを地の果てへ送り出すようドン・ボスコを動かした同じ聖靈が、今、私たちをも呼んでおられます。ただもっと遠くへ行くというだけでなく、より深くこの世の傷の中へ、見捨てられた若者たちの日々・人生の中へ、意味を探し求める人類の心そのものの中へ赴くようにと。

私たちは過去の歴史を祝うのではありません。生ける炎を再び燃え立たせるのです。この記念の年は、宣教の大胆な勇気を再び燃え立たせ、安樂を乗り越え、どこであれ若者が私たちを待つ地で、新たな熱意をもって、「Da mihi animas 我に魂を与えたまえ」と繰り返すようにとの招きです。

マリアのマントのもと、私たちはどこにいても、果てしなく夢見、惜しみない心で使命を生きる勇気を見いだすのです。

Fabio Attard SDB

○ 総長

ファビオ・アッタールド神父, SDB

第156回宣教派遣

2025年11月11日、ヴァルドッコより総長により派遣

第156回宣教派遣 19名の宣教師

No.	出身管区	出身国	氏名	派遣先管区	派遣先国/地域
1	ACC	コンゴ民主共和国	S. NGUSUN SIMBA, Josuè	-	ギリシャ
2	ACC	コンゴ民主共和国	S. NTUMBA LILEY, Jean	PGS	バヌアツ
3	AFC	コンゴ民主共和国	S. MBUNGU MAKUTUBU, Michel	CIL	チリ
4	AGL	ケニヤ	S. BALIKUDDEMBE, Solomon	INC	バングラデシュ
5	AGL	ウガンダ	S. OFOYRWOTH, Isaac	PGS	バヌアツ
6	ANG	アンゴラ	S. DA GRAÇA MIGUEL, Francisco	BMA	ブラジル
7	BOL	ボリビア	S. LENAZ, Paolo Estefano	BMA	ブラジル
8	GIA	日本	P. MORITO, Chihiro	AFE	南スーダンDel.
9	IND	インド	S. HUMTSOE, Zabenthung Dominic	INE	ルーマニア-モルドバDel.
10	ING	インド	P. UTTAM, Molsom Hubert	AFM	南アフリカ
11	MDG	マダガスカル	P. NIRINA RASENDRAMANANA, Charles	GER	トルコ
12	PLS	ポーランド	P. WOSIEK, Marcin	-	ギリシャ
13	RMG	ベトナム	P. NGUYEN, Peter Doan Chuyen	AFM	南アフリカ
14	TLS	東ティモール	S. DO NASCIMENTO, Tobias Freitas	MOZ	モザンビーク
15	VIE	ベトナム	S. NGUYEN THANH SANG, Simon	KOR	モンゴルDel.
16	VIE	ベトナム	L. NGUYEN TIEN NAM, Vincent	CIL	チリ
17	VIE	ベトナム	S. TRAN VAN NHO, Francis	THA	タイ-カンボジア
18	ZMB	ザンビア	S. MUMBA, Mwila	INC	バングラデシュ
19	ZMB	ザンビア	S. NG'ANDWE, Musa	INE	ルーマニア-モルドバDel.

Del. = 委任地区 L = サレジオ会修道士 P = サレジオ会司祭 S = サレジオ会神学生

派遣されたサレジオ会宣教師 2015-2024年(総勢243名)

出身地域	派遣先地域	数
アフリカ - マダガスカル	地中海	92
AFC 32, ACC 16, MDG 10	IME 12, MOR 11, CNA 11	53
東アジア・オセアニア	東アジア・オセアニア	67
VIE 38, FIN 9, TLS/ITM 6	PGS 11, KOR 8, CIN 7	44
南アジア	中央 - 北ヨーロッパ	36
INB 7, ING 6, INM 5	GBR 8, GER 6, SLO 6	12
インターナショナル	アフリカ - マダガスカル	19
CAM 6, VEN 3, HAI と MEM 2	AFE 9, ACC 6, AFC 6	39
中央 - 北ヨーロッパ	インターナショナル	12
CRO 6, 他 1	VEN 5, ANT 4, PER 4	30
地中海	南米サウスコーン	11
SSM 3, ICC 2, SMX 2	ARS 6, BMA 6, CIL 4	29
南米サウスコーン	南アジア	6
ARN 2, ARS 2, 他 1	LKC 7 と ANC 1	8

Cagliero 11(カリエロ11)の全バックナンバー：<http://salesians.jp/library/cagliero>

アフリカ中央管区の惜しみない宣教の精神はどこから?



ドミニク神父様、この10年、神父様の所属するアフリカ中央管区AFCは、ほかのどの管区よりも多くの宣教師を送り出しています。それはどうしてですか？

み摂理は我々の管区に宣教師の召命を特別に豊かに与えてくれました。この10年、初期養成を受けている中のかなりの人数の会員が宣教に行きたいという望みを進んで表明するのを私たちは目にはしています。その中の36名が、現在、世界各地で宣教しています。そのダイナミズムには、いくつかの要因があります。第一に、歴代の管区長たちは、特に若い会員の中に、宣教の呼びかけに応える開かれた姿勢を促進し支えることができました。第二に、小教区や教区に足跡を残してきたかつての宣教師たちのあかしに、多くの若者が触発されています。宣教師たちの姿は、若者たちの識別の上に、深く刻まれた印象を残しているのです。

また、養成グループの中に経験豊かな宣教師の会員がいることは、重要な役割を果たします。

宣教地へ送る会員について、どのように識別し、選ぶのですか、またその宣教の歩みを、誰が、どのように同伴するのですか？

宣教の召命の識別は早い場合、修練期から始まります。修練生は修練長との対話の中で宣教に心惹かれていることを自由に表明するよう招かれています。続いてポスト・ノビスの間、共同体の同伴、院長、靈的同伴者の同伴を通して識別が続けられます。

定期的な司牧体験、特に日曜日に子どもや若者、最も弱い立場にある人々に献身的に関わることも、宣教への惜しみない姿勢を形作るのに役立ちます。宣教促進の担当者PDMAは四半期に一度、会合を開き、宣教に関するさまざまな話題を取り上げます。養成のサイクルの終わりに、管区長と管区評議会は、会員が志望を表明していることを確認し、支部共同体の諮問を行った後、その会員を宣教師として推薦することができます。ですから、識別のプロセスは個人の歩みであると同時に、共同体的、組織的な歩みなのです。

ほかの管区に派遣された宣教師たちは、何らかの形でAFC管区に貢献する存在ですか、それともむしろ管区にとって損失になったと捉えられていますか？

損失どころか、宣教師を送り出すことは豊かさの源泉と捉えられています。1991年以来、ほかのところからの会員の惜しみない献身のおかげで私たちの管区は築き上げられたということを、思い出すべきでしょう。今、同じ謙遜な心で、教会の普遍的な使命に私たちが貢献する番なのです。

この若い宣教師たちは本当に大使です：自らのキリストの親しい体験とAFC管区で生きられているサレジオのカリスマをたずさえ、ほかの場でそれを広めます。彼らを送り出すことは、私たちに誇りと責任感をもたらしてくれます。

さらに、AFC管区は宣教師を送り出すだけでなく、受け入れてもいます。ほかの地平の彼方からやって来た会員の存在は、私たちの共同体と司牧活動を豊かにします。それは私たちの修道会の普遍性を絶えず思い起こさせ、自分たちの国の中だけで閉じこもろうとするあらゆる誘惑から守ってくれます。このような交流は、神の民にとって眞の預言的しです。信仰と兄弟愛の精神のうちにさまざまな文化が出会うことは、管区全体にとって刷新と成長の源泉なのです。



ドミニク・クブヤ神父, SDB

コンゴ民主共和国出身、ゴマで生まれました。ルワンダ、コンゴ民主共和国、ケニアで初期養成を受けました。**2008年**、トリノで**宣教の十字架**を受け、スーダン委任地区に派遣されました。**2013年に司祭叙階**。南スーダン、コンゴ民主共和国、ルワンダ、ブルンジで使徒職に励みました。カンセブラ／ルブンバシで、計画・開発事務局の局長、聖堂管理者、ポスト・ノビスの養成担当、またAFC管区の**管区宣教促進担当者**(PDMA)を務めています。



11月
サレジオ
宣教の
祈りの意向

再考 > 宣教の精神

サレジオ会の意向

ドン・ボスコの心からあふれ出る宣教精神の賜物を祈り求めます；
その宣教の精神が、日々のサレジオの宣教事業において、
常に活力を与えてくれる炎でありますように。



サレジオ会の
新宣教師たちの
ために